

富士通 環境本部分行

「2006富士通グループ社会・環境報告書」をご覧いただきありがとうございました。次回報告書を作成する際の参考とさせていただきますので、下記項目にご記入の上、FAXをいただければ幸いです。なお、FAXをいただいた方には、「2006富士通グループ社会・環境報告書」を送付させていただきます。

Q1 前回の2004環境経営報告書と比べていかがでしたか。

良かった

普通

良くない

Q2 富士通の社会・環境活動についてご存じでしたか。

知っていた

少し知っていた

知らなかった

Q3 本報告書をご覧になってどのようにお感じになりましたか。

良くできている

普通

あまり良くない

Q4 本報告書で気になった記事はどれでしたか(複数選択可)。

経営者からのメッセージ
持続可能な社会の実現をめざして The FUJITSU Way
企業統治と内部統制
コーポレート・ガバナンス
コンプライアンス
リスクマネジメント
知的財産の保護
情報セキュリティ
Highlights of the Year ~ 2004年度活動ハイライト

Chapter 社会と富士通
お客さまのために
品質の追求

ユニバーサルデザイン
社員とともに
株主・投資家のために
お取引先とともに
地域社会・国際社会のために
Chapter 地球環境と富士通
環境方針
目標と実績 第4期環境行動計画の進捗状況
環境マネジメントシステム
環境経営の強化
環境会計
事業活動と環境負荷(マテリアルバランス)

事業活動と環境負荷
パソコンのライフサイクルにおける環境配慮
製品の環境対策
製品リサイクルの推進
環境ソリューションの提供
地球温暖化防止の取り組み
グリーンファクトリーの推進
グリーン調達
研究開発
環境教育・啓発
環境コミュニケーション

Q5 社会・環境活動に関する富士通グループへのご意見・ご要望などご自由にご記入ください。

Q6 本報告書をどのような立場でお読みになられているか教えてください。

富士通製品のお客さま
一般消費者
学生
環境専門家
富士通グループ事業所の近隣住民

報道関係
株主
金融・投資関係者
企業の購買(調達)担当者
企業の環境担当者

NGO / NPO
行政関係者
外部調査機関
その他()

Q7 本報告書の存在は、何を通じてお知りになりましたか。

新聞
雑誌
広告
ホームページ

広報IR室
富士通グループ社員
富士通グループ営業担当
工場見学

NGO / NPO
友人
展示会
その他()

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下記欄にもご記入ください。

(ふりがな)

お名前

2006富士通グループ社会・環境報告書送付先ご住所

〒

ご職業(勤務先)

部署

電話番号

E-mail

今後、富士通および富士通子会社が行う環境関連のイベントのご案内、環境関連製品のご紹介をさせていただきます場合があります。お客さまの情報についての照会、削除あるいは修正については、右記までご連絡ください。

環境本部 TEL: 044-754-3413

「2004富士通グループ環境経営報告書」アンケート集計結果

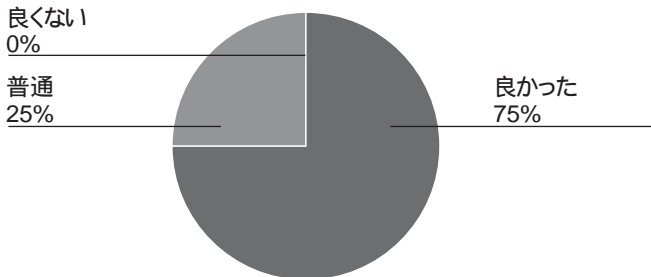
「2004富士通グループ環境経営報告書」のアンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。

アンケートの集計結果は以下の通りです。

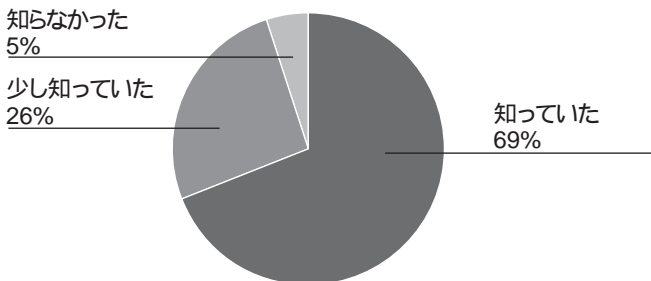
皆さまからいただいた貴重なご意見を、今後の活動に活かすとともに、より良い報告書づくりに活かしてまいります。

アンケート集計結果 回答者数 = 43

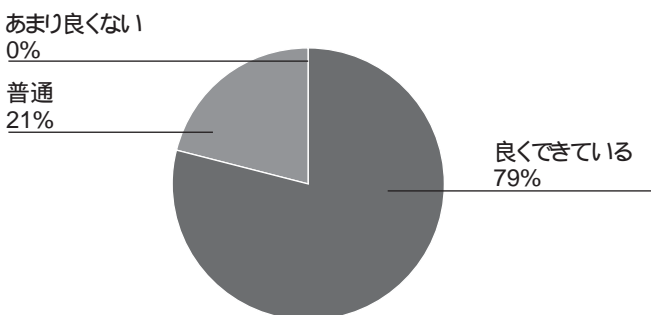
Q1 前回の2003環境経営報告書と比べていかがでしたか。



Q2 富士通の環境経営活動についてご存知でしたか。



Q3 本報告書をご覧になってどのようにお感じになりましたか。



Q5 富士通へのご意見・ご要望などをお聞かせください。

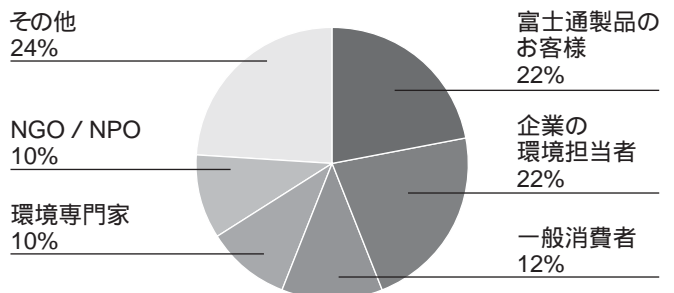
主なご意見

環境活動では従業員一人ひとりの意識改革が重要。
 全体概念の関係体系図があると良い。
 「ライン」「サイト」という言葉について、もう少し説明がほしい。
 ノートパソコンのライフサイクル物語はわかりやすい。このような表現の工夫はもっとほしい。
 アンケート用紙は別紙にしてほしい。

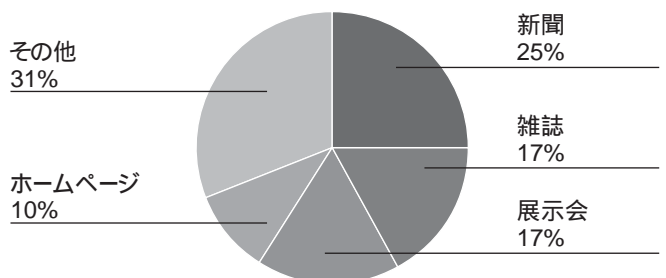
Q4 本報告書で気になった記事はどれでしたか。

上位10項目	得票数
ノートパソコンのライフサイクル物語	19
グリーン製品の開発	19
廃棄物ゼロエミッション	16
グリーン調達	15
省エネルギー対策	15
化学物質の排出削減	14
ユニバーサル・デザイン	14
富士通におけるサステナビリティの考え方	12
事業活動と環境負荷	12
環境マネジメントシステム	12

Q6 本報告書をどのような立場でお読みになられているか教えてください。



Q7 本報告書の存在は、何を通じてお知りになりましたか。



ご意見への対応例

2004年度は、とくに営業部門への環境教育を強化し、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めました。
 環境マネジメントのページを拡充し、活動のしくみやライン・サイトについて詳しい説明を加えました。
 2005年度報告書においても、全体的に読みやすさを配慮しました。また、パソコンのライフサイクル物語などは、継続して掲載しました。
 アンケート用紙を別紙にし、ご意見を伺いやすいようにしました。